

第10分科会 (自治的諸活動と生活指導・中学校)

安定した生徒指導の充実をめざして
～「生徒が生きる」「生徒を活かす」とりくみを通して～**1, 主題設定の理由**

現在、学校現場では経験の多い先輩方が次々と退職をしていき大量採用の時代を迎え、経験の少ない若手が多くなることはいなめない。そのような中、学校としてぶれない指導を引き継ぎ、継続し、発展させることは困難であると考え、いつの時代でも生徒が自主的、自発的に判断、行動し積極的に自己を生かしながら、自分たちの学校を自分たちで創り上げていけるよう指導にあたるのが大切であると考えた。そこで、3年間を見通した具体的なとりくみを整理し、「生徒が生きる」「生徒を活かす」ことを積極的かつ計画的に取り入れ、生徒を主役にした活動が充実すれば、安定した生徒指導の充実につながると考え本主題を設定した。

2, 研究の方向性

- (1) 3年間を見通した自治的活動における各学年のねらいを明確にし、発達段階に応じた育成のためのとりくみを整理し、計画的に実践すれば「自治の力」が育つだろう。
- (2) 「生徒が生きる」「生徒を活かす」とりくみを意図的に設定し、自治的活動において生徒が成就感、達成感ならびに自己有用感を得ることができれば安定した生徒指導のさらなる充実が図れるだろう。

3, 研究内容について

- (1) 3年間を見通した自治的活動力の育成
- (2) 生徒を前面に出すための事前打合せ
- (3) 自己理解、他者理解を深める
- (4) 相互評価を取り入れた活動
- (5) 今後予定しているとりくみ

4, 成果と今後の課題

生徒たちも中学校とは、自分たちで考えてとりくめる場所だと認識し、また、楽しみながら考えて行動している。今後、2年次、3年次と進級していくが、生徒の発達段階に応じた生徒の自治的活動を促すしかけを行っていき、3年間のサイクルを確立させたいと考えている。

細かな問題でも常に学年全体で共有することにより、正統派の集団の成長が著しく、集団としての力も付いてきている。

課題としては、生徒の自治的活動を促すためには、教職員間の共通理解が必要不可欠である。学年会を定期的に関き、また日常でも教職員間での声掛けを大切にしていきたいと感じる。

1. 研究主題

安定した生徒指導の充実をめざして
～「生徒が生きる」「生徒を活かす」とりくみを通して～

2. 主題設定の理由

(1) はじめに

本校では数年前、警察やスクールサポーターが介入する事件などもあり、問題行動の対処・指導等の消極的な生徒指導に多くの時間や労力を費やしていた。一方、教職員は社会的資質や行動力を高めることを目的とした生徒指導として「生徒一人ひとりを大切に生きて活かす！」を合い言葉に、生徒の自主的・自発的な活動を重視するよう共通理解し支援・指導にあたってきた。

指導の成果もあり問題行動の数は減り学校は落ち着きを見せ、本校の課題を「安定した生徒指導の更なる充実」とした。

現在、学校現場では経験の多い先輩方が次々と退職をしていき大量採用の時代を迎え、経験の少ない若手が多くなることはいなめない。そのような中、学校としてぶれない指導を引き継ぎ、継続し、発展させることは困難であることから、いつの時代でも生徒が自主的、自発的に判断、行動し積極的に自己を生かしながら、自分たちの学校を自分たちで創り上げていけるよう指導にあたるのが大切であると考えた。そこで、3年間を見通した自治的活動の具体的なとりくみを整理し、「生徒が生きる」「生徒を活かす」ことを積極的かつ計画的に取り入れ、生徒を主役にした活動が充実すれば、安定した生徒指導の充実につながると思え本主題を設定した。本年度はその初年度である。

(2) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は、「自学自敬の心を持ち、明日に向かって逞しく生きる生徒の育成」である。生徒が自ら学び、自らを律する自己指導能力を育むことは、生徒がこれからの社会を生き抜く上で大変重要である。この力は、学校生活において周りに流されて行動するだけでは育つことはなく、自ら判断し行動することを繰り返していく中、仲間や教職員に認められたり成就感、達成感を得たりする経験を積み重ねていくことで育っていくと考える。この経験を積み重ねる場は、生徒自身で設定することは難しいことから、教職員が生徒の活躍の場を意識し計画的に設定することが必要となる。このことから、「生徒が生きる」「生徒を活かす」とりくみや活動の場を設定し、成就感・達成感ならびに自己有用感を持たせることができれば学校教育目標達成の手立てとなると考えた。

(3) 生徒の実態から

本校の生徒は学習や部活動、各行事に積極的にとりくむ生徒が多い。また、行事やいろいろな会を企画・運営したりすることに高い興味・関心を持っており、行事などは大変盛り上がる。係活動なども自分たちで考え運営できるようになってきており、学校全体として生徒が自主的、自発的に活動することの大切は理解されつつある。しかしながら、各行事は盛り上がるもののリーダーの活躍は各行事のみでとどまってしまい、後の学校生活の改善や発展に結びつかない現状もある。この現状からも日常の学校生活の中でもリーダーとフォロワーのよい関係が築けるように、自治的活動を生徒に委ね、生徒を前面に出す場を多く設定し、自信を持って生き活きと活動する姿が多く見られるようにしていきたい。

3, 研究の方向性

- (1) 3年間を見通した自治的活動における各学年のねらいを明確にし、発達段階に応じた育成のためのとりくみを整理し、計画的に実践すれば「自治の力」が育つだろう。
- (2) 「生徒が生きる」「生徒を活かす」とりくみを意図的に設定し、自治的活動において生徒が成就感、達成感ならびに自己有用感を得ることができれば安定した生徒指導のさらなる充実が図れるだろう。

4, 研究内容について

(1) 3年間を見通した自治的活動力の育成

本校では3年間を見通し、各学年の生徒の発達段階に応じたテーマを設定し、教育活動にあたっている。

そこでそれに沿った自治活動におけるねらいを以下のように設定した。

学年	テーマ	ねらい	具体的な取り組み	育てる力
1	学ぶ学年	自治的活動の方法、重要性、大切さ、楽しさを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会の企画、運営 ・ふれあい学習の運営 ・学年行事の企画、運営 ・運動会、文化祭等の企画、運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や集会等の企画、運営方法 ・リーダー、フォロアーの在り方 ・成就感、達成感
			<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターの実施 ・集団や個を振り返る場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・認め合い ・自己有用感 ・自己指導力
			<ul style="list-style-type: none"> ・実行部活動の充実、運営の仕方を理解。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治意識の向上 ・自浄力
2	創り出す学年	自治的活動の充実、発展。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年行事の企画、運営 ・運動会、文化祭等の企画、運営 ・宿泊学習の企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行力 ・成就感・達成感 ・自信
			<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターの実施 ・集団や個を振り返る場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・認め合い ・自己有用感 ・自己指導力
			<ul style="list-style-type: none"> ・全校を動かす生徒会活動の実施 ・実行部活動の見直し、発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・自浄力
3	伝える学年	全校の自治的活動を運営し、その在り方を後輩へ伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年行事の企画、運営 ・運動会、文化祭等の企画、運営 ・修学旅行の企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校のリーダーとしての自覚と自信 ・達成感や成就感
			<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターの実施 ・集団や個を振り返る場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・認め合い ・自己有用感 ・自己指導力
			<ul style="list-style-type: none"> ・全校を動かす生徒会活動の実施 ・全校を動かす実行部活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践力 ・自浄力

(2) 生徒を前面に出すための事前打合せ

①リーダーとフォロアーの育成

生徒の活動の場において、教職員からの指示を減らすよう心がけている。学校生活の中で、教職員からの放送器具等を利用した一斉の指示が多くなると教員の指示に従う力はつくが、自分たちで考えて行動する力の育成の場を奪うことになってしまう。

自治的活動の充実に向け、生徒の活動は事前にリーダーに説明し理解させたいので生徒に考えさせ、生徒の言葉で生徒に伝えられるよう支援し、実践させ評価している。評価にあたっては、指示が出せたリーダーを賞賛するとともに改善点についても考えさせるように指導にあっている。また、自分たちが選出したリーダーの指示のもと行動できたフォロアーについても賞賛することでリーダーとフォロアーの良い関係の構築に努めている。

②ミニ運動会の実施

ア 1回目

ミニ運動会を実施し、種目やそのルールについて生徒が決定をする。自分たちで考えて決めたルールは自分たちで守るという意識が芽生える。種目の順位を各学級毎で競いあう為、自分たちで時間を見つけて練習にとりくみ、学級内の仲間意識も徐々に高まる。また、学級全員が参加でき、時間をかけて練習を重ねることにより成果が出やすい種目を選択した。

今回は、30人31脚、長縄、全員リレー、綱引きを行った。30人31脚は、学級毎に作戦が異なり、学級での話し合いが重要であった。長縄は学級の仲間と心をついに合わせることができ、練習も大変盛り上がった。練習の後半は他の学級との競争よりも、自分たちの学級の記録更新に目標が設定されるなど、意欲的に取り組む姿が見られた。全員リレーも走順を決定する際の学級活動での話し合いの時間がまた成長の時間となった。

イ 2回目

1回目のミニ運動会で一喜一憂したことから、「もう一度やりたい!」という声が体育部を中心とした生徒から発せられた。生徒の気持ちを活かすとともに、生徒の自治的活動の育成の場として2回目のミニ運動会の実施を決定した。2回目の実施にあたっては前回の反省点や課題、良かったところなどを活かしながら、より自分たちで企画、運営することを条件とした。結果、生徒の自主的な活動の場が多くなるとともに競技力も向上したことから、1回目を上回る成就感や達成感を味わうことができた。

ウ 今後

次回に向けて更なる挑戦をしようとする心意気が芽生えている。2学期以降も引き続き行っていきたいと考える。今後、ミニ運動会の実施のみに留まらず、生徒の考えを尊重し「自分たちでできるんだ!」「自分たちでやっていいんだ!」と言う意識を育て、活動の範囲を広げていきたい。

③生徒の手による学年集会並びに実行部活動の実施

評議会を中心とした学年集会を定期的に行っているが、この集会も事前に評議会のメンバーに役割分担をして、司会進行の全てを生徒たちで行っている。主に実行部活動では、新しい挑戦をする実行部会が多く、毎日の短学活での呼びかけや放送による発表や呼びかけ、その成果と課題をこの集会で発表する。また、生徒からの要望を受け入れる実行部会も多く、今までの学校にはない新たな試みも自分たちで考えて、反省点を改善し、次の活動に活かしている。

この集会においても、それぞれの実行部のリーダーが前へ出て、自分たちの考えや活動を発表し、質疑を受け付けて応答し、学年や学校をより良くするためにフォロアーも決まった活動には積極的に協力し、活動にとりくむ姿が見られている。日常的にリーダーとフォロアーの良き関係を構築している為、スムーズに集会が行われるようになった。



リーダーとしての自覚と自信、成就感、達成感

(3) 自己理解、他者理解を深める

①自浄力の育成に向けて（生活見直しのアンケートの実施）

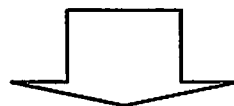
自分が所属する集団の中で起きている問題や考えるべき課題等について、自分はどう考えているのか一人ひとりが自分なりの意見や感想を持てるよう、生活の見直しのためのアンケートを適宜実施している。

実施したアンケートについては、仲間の考えを共有できるように掲示している。

また、生徒の誰もがより良い集団の中で生活したいという気持ちを持っており、アンケートの回答は正統派の意見が多いことからアンケートを掲示することは、発言権の強い生徒の個人的な意見に流されない、健全な集団の構築にも大きな力を発揮すると考える。

アンケートは、生徒の発達段階に応じて実施しているため、はじめは教職員がアンケートを作成し実施したが、今後は、リーダーがより良い集団の構築に向け、集団の実態に応じて作成したアンケートを実施し、そのアンケートを集約したうえでその後の生活を自分たちで考えられるよう発展させて、リーダーもフォロアーも自分たちの集団のあるべき姿について当事者意識が持てるよう育成するとともに自浄力のある集団を育成する計画である。

(資料1 アンケート)



自浄力、自治意識の向上

(4) 相互評価を取り入れた活動

①母体となる学級の耕し

ア 仲間を認める力の育成（良いところ探しビンゴゲーム）

学級内での良いところ探しビンゴゲームを定期的実施している。用紙に学級全員の氏名を漢字で記入させ、ビンゴ用紙を作成する。

その後、リーダーとなる生徒2名に事前に生徒の氏名が書かれた用紙をランダムに配布させる。自分の所に来た用紙に書かれている生徒の良い所を一斉に記入させる。全員が記入し終わったら、誰にも見えないよう用紙を織り込んでシールを貼り、リーダーが回収し、再びランダムに配布させることを繰り返し、全部で5名の生徒の良い所を記入した時点で終わりとなる。

先に記入したビンゴ用紙を用意させ、回収した良い所を記入した用紙を担当が発表し、誰のことなのかをわかった生徒に手を挙げさせて発表させる。間違えて答えても、その生徒をそのように見ている仲間がいることを把握させることで、自己有用感を十分に与えることができ、学級内での認め合う力を育成できると考える。

（資料2ワークシート）

イ 集団、仲間、個を見つめ直す学級活動の実施（1学期を振り返って）

集団、仲間、個を見つめ直すための学級活動をワークシートもとに、学期末に実施している。内容は、学期を振り返って学級や自分自身を漢字1文字で表現させたり、学級内で優しかった人、しっかりしている人、ムードメーカーや責任感のある人、心の広い人などを記入させたり、自分自身の反省点や改善点、なりたい自分や自分が周囲にどう思われているかなどを考えさせるものである。また、生徒が作成したワークシートの集団と仲間の部分については実施後に内容を公表することで、仲間意識を深めたり自己有用感を持たせたりできる。個に関しては、集団の中の一員としての自覚や今後の自分の行動の改善を考える場となる。

（資料3ワークシート）

ウ 自己指導能力の育成

個を見つめるアンケートとして各学期の反省の中に、学級での係活動への取り組みや実行部活動への取り組み等を自己評価し、反省をいかして新たな目標を設定し、来学期につなげたい。また、中学校3年間を見通した長いスパンの中での自己評価として、中学校生活で大切にしたいものやがんばりたいランキング等を自分で決めて振り返ることで主体的に目標を見つめる能力を養うとともに、反省点や改善すべき点を具体的にあげることで自分自身の行動に責任を持つことができると考える。

（資料4ワークシート、アンケート）

エ より良い学級集団を主体的に形成するためのとりくみ（学級新聞）

週に1回、担当の生活班が自分たちでつくる学級新聞を発行している。内容は、1週間の学級の出来事や今週のMVP、週の目標に対する良かった点や改善を要する点、今後のとりくみやクラスメイトへの呼びかけなどである。仲間とともに作成し、仲間とともに自分たちの集団について考える場となり、「自分たちの」・「自

分たちで」という意識の向上につながり、自治力、自浄力の育成を図っている。

(資料5 学級新聞)

②朝読書を活用したリーダーの育成

本校では毎朝、10分間の朝読書タイムが設けられている。毎日行うものであるが故にとりくみもマンネリ化してしまう傾向がある。そこで各学級の学級委員長と副委員長の2名が1日ずつのローテーションで、他の学級に入り、朝読書を行いながらその学級の良い点と改善点を記録し、毎週金曜日に評議会で集約し、自分の学級に今週の反省として発表するシステムを組んだ。教職員ではなく、他の学級のリーダーに評価をしてもらうことで、生徒の中で自浄力も育まれ、特に改善点はしっかりと翌日から意識ができ、自分たちで注意や呼びかけの声が教室内から聞こえるようになり、担任は前で読書をするもののみの動きとなる。

もう一つのポイントとしては、8時からの朝読書がしっかりと時間に開始する為に2分前には各学級にリーダーが行き、着席を完了させて朝読書にとりくむ指示を出すことで8時の段階では全学級が整然と読書にとりくむ状態がつけられている。

また、当然のことであるが、机上には何も置かず本のみにする事で生徒の集中力を維持することができる。2学期以降も継続し、今後は自習の時間等にも同様の状態にとりくめるようにしたいと考える。



自己有用感、自己指導力、認め合い

(5) 今後予定しているとりくみ

- ・ 2学期、3学期の反省
- ・ 1年間を振り返って
- ・ 自己評価カード
- ・ 人と人との関わりワークシート
- ・ 良い集団をつくるために
- ・ 進級してからの生活振り返りシート

(資料6 ワークシート)

5. 成果と今後の課題

今回の提案はあくまで中学校生活の3年間を見通したものであり、その過程の1年次のものに過ぎない。入学してから1学期を終えたが、レクなどの企画、運営など自分たちでやっていいという気持ちは養われていると感じる。教職員が考えもしなかったアイデアなども自分たちで出すことができるまでに成長している。生徒たちも中学校とは、自分たちで考えてとりくめる場所だと認識し、また、楽しみながら考えて行動し、とりくんでいる。今後、2年次、3年次と進級していくが、生徒の発達段階に応じた生徒の自治的活動を促すしかけを行っていき、3年間のサイクルを確立させたいと考えている。

現在、若干名の生徒が集団とは異なる勝手な行動をとることがあるが、生徒間で注意し合い、抑止になっていることも、成果としてあげられる。細かな問題でも常に学年全体で共有することにより、正統派の集団の成長が著しく、集団としての力も付いてきている。若干名の生徒を学年から浮かすことなく、集団の力で引っ張っていきたい。

課題としては、生徒の自治的活動を促すためには、教職員間の共通理解が必要不可欠であるが、実際は徹底できていないのが現状である。学年会を定期的に行き、また日常でも教職員間での声掛けを大切にしていきたいと感じる。

生徒を前面に出すために最も重要なことは、事前準備である。そこには教職員が関わり、前に出る生徒の準備をともに考えてまとめる必要がある。これを怠ってしまうと、前に出たいという生徒が減少し、自治活動が機能しなくなってしまう為、事前の準備には教職員の十分な指導と確認が必要であると考えられる。

最後に、経験の多いベテランの諸先輩方が次々に退職されていき、また、経験の浅い若手の先生方が急激に増加していく学校現場の中で、現在私は中堅にあたるポジションにいる。私の役割は、諸先輩方からご指導頂いたことをより具体的に実践しながら後輩に確実に伝えるなかで発展させていくことだと強く感じている。教職員の異動や退職、また保護者や生徒からのニーズの多様化に伴い、急速に学校現場の事情が変化している中でも、いつでも、どんな時でも、学校の安定した生徒指導の充実をめざし、また確立することを目的として本主題に対し、今後もとりくんでいきたいと考えている。

資料編

学年を良くするためのアンケート

5組	氏名
----	----

1. 先週と今週の2回、生徒同士のケンカの際に、暴力行為がありました。みんなが安心して生活できる学年にしたいと考える中で、暴力行為は絶対にあってはならないことです。小学生ではなく、君たちは中学生です。暴力行為はごめんなさいでは済まされません。あなたは、暴力行為についてどう思うかあなたの考えを書いて下さい。

暴力は絶対だめだと思います。なぜなら、私達はもう中学生で大人とあつかわれてるし言葉でかえしたりすれば、ちょっとのケンカでおわるからです。だからやられたとしても先生などに相談しようと思います。

大人としての行動、まんで...う!!

2. 今後、この学年をどういう学年にしていきたいか、あなたの考えを書いて下さい。

安心して生活できてしんらいし合えるような学年にしたいです。イジメなど暴力もなくして他の中学校から館山第三中学校はいいなと思われたいです。

その通り!! 先生どう思ってます!!

クラスメイトビンゴゲーム

氏名

やり方

- ① $5 \times 6 = 30$ マスあります。あなたのクラスの全員の名前を書いて下さい。
- ② なるべくフルネームで書くようにする。(なるべく漢字で。)
- ③ 班になって作成し、10分以内に班員全員を書き終わらすこと。
- ④ 呼ばれた名前をチェックしていき1列並んだ人が勝ちとします。

1年1学期を振り返って

氏名

1. 1年1学期までの1年5組を振り返って、この1年5組を漢字1字で表して下さい。

理由は

.....

2. 1年1学期までの自分を振り返って、自分を漢字1字で表して下さい。

理由は

.....

3. このクラスで一番優しい人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

4. このクラスで一番しっかりしている人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

5. このクラスで一番のムードメーカーだと思える人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

6. このクラスで一番責任感のある人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

7. このクラスで一番心の広い人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

8. このクラスで一番心の温かい人を教えてください。

男子	女子
男子	女子

9. 本当は良くないと分かっているのに、あなたが直せていない所
ほどんなところですか？(最低3つあげてください。)

10. 人は自分が思っている通りの人間になります。

①あなたは、今どんな自分ですか？

②あなたは、他の人にどんな人だと思われていると思いますか。

③あなたは、今後どんな自分になりたいですか？

この夏休み、自分について真剣に考えてみてください。

自分を一番大切にできるのは自分自身です。

人は思ったとおりの自分になれます。

こんな自分になりたいという強い思いを持とう。



1. 大切にしたい物ランキング

1年	組	番	氏名
----	---	---	----

○中学校3年間で大切にしたいと思うものを1位から5位まで選んで見よう!

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ①健康 | ⑨友達 | ⑲法律・きまり |
| ②希望・勇気 | ⑩異性の友達 | ⑳公德心 |
| ③自立(自分で考える) | ⑪素直な心 | ㉑正義・公正・公平 |
| ④理想・目標 | ⑫自然 | ㉒勤労・ボランティア |
| ⑤真理・真実 | ⑬生命 | 21 家族 |
| ⑥個性 | ⑭くじけない強さ | 22 学校 |
| ⑦礼儀 | ⑮集団生活(クラス) | 23 日本 |
| ⑧思いやりの心 | ⑯集団生活(部活) | 24 世界平和 |

1位 2位 3位 4位 5位

↓

仲間の考えを聞いて

↓

1位 2位 3位 4位 5位

2. がんばりたいランキング (もってないのでもちたい!)

○中学校3年間でがんばりたいと思うものを1位から5位まで選んで見よう!

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ①健康 | ⑨友達 | ⑲法律・きまり |
| ②希望・勇気 | ⑩異性の友達 | ⑳公德心 |
| ③自立(自分で考える) | ⑪素直な心 | ㉑正義・公正・公平 |
| ④理想・目標 | ⑫自然 | ㉒勤労・ボランティア |
| ⑤真理・真実 | ⑬生命 | 21 家族 |
| ⑥個性 | ⑭くじけない強さ | 22 学校 |
| ⑦礼儀 | ⑮集団生活(クラス) | 23 日本 |
| ⑧思いやりの心 | ⑯集団生活(部活) | 24 世界平和 |

1位 2位 3位 4位 5位

↓

仲間の考えを聞いて

↓

1位 2位 3位 4位 5位

1年5組 学組新聞



新聞

平成29年6月2日 No.4

やるべきこと!

1年5組の出来事

自覚について

自分が日直だという自覚を持つことができないと日直を何度もやるはめになりますよ。カレカレ

『自分に厳しく人にやさしく』

1年5組には自分に甘く人に厳しい人がいます。

人にはやさしくしましょ!



4.班 松坂先生

今週のMVP

配膳当番をがんばっていたP

そうじ王P

今週の1年5組 (目標に対して)

今週の目標

授業態度を気をつけよう!

良かったところ

時間を守っていた。

悪かったところ

忘れ物が多かったんす。

今後どうするの

良い所をより良くし悪い所を良くする!

保護者のひとこと

入学してから4月になりおかげで77人の仲間が自分たちで活動を行う生徒が出来ました。自分たちの教室を秋以降残りの時間を有効に活用して早く授業をやり、自分の力を伸ばすことに努めます。少いながらも自分たち5組に対して愛が込められたことに大変感謝しています!

期末テスト

平成29年6月23日 No. 1

1年5組の出来事

今週はテストがあってみんな
つかれていると思うけど
これからも勉強はしっかりやて
いしましょう!

クラス平均

- 国語 → 69.4 1位
- 社会 → 65.7 1位
- 数学 → 79.9 1位
- 理科 → 75.2 1位
- 英語 → 53.9 2位

5教科
学年 1位!

発行部

今週のMVP

レクを自分の
ペースでやっていた。

今週の1年5組 (目標に対して)

今週の目標

テストを頑張る。

良かったところ

みんながテストに集中してた。

悪かったところ

忘れ物が多かった。

今後どうするの

忘れ物をしない。

松原のひとこと

- 期末テスト前に「個人の目標」と「クラスの目標」と決まりました。
クラスの目標は「学年の平均点、全教科100点」でした。
結果は、左にあるように「英語」以外はトータルで
見ると、目標を達成するこも出来ました!!
君たちの今後、課題は「英語」です!
「英語」、ファイト!!

1年 3学期 自己評価カード

1年	組	番	氏名
----	---	---	----

自分を見つめる（反省する）ことで、何をしなければいけないのかが見えてきます。今のあなたはどんなあなたですか？

※評価のしかた

- 5・・・よくできている
- 4・・・まあまあできている
- 2・・・あまりできていない
- 1・・・ほとんどできていない

	項 目	評 価
基本的な生活習慣	時間の大切さを知り、時間を意識して生活できた。	5・4・2・1
	生活ノートをしっかりと記入するなど、忘れ物をしないように心がけた。	5・4・2・1
	提出物は期限を守り、提出することができた。	5・4・2・1
	その場にあった言葉遣いができ、相手に不愉快な思いをさせなかった。	5・4・2・1
	身の回りの整理整頓や清潔感のある服装を心がけることができた。	5・4・2・1
	あいさつの大切さを知り、誰にでも自然にあいさつすることができた。	5・4・2・1
健康・体力	いつも明るく笑顔を大切にして生活できた。	5・4・2・1
	物事にくよくよせず、常に前向きに考えて生活できた。	5・4・2・1
	体育の授業に積極的に参加することができた。	5・4・2・1
	目標を持って部活動（駅伝練習）に参加し、熱心に取り組むことができた。	5・4・2・1
自主・自立	生活習慣（早起、早起きや食事における好き嫌いなど）に気がつけた。	5・4・2・1
	「今、何をすべきか」を考え、正しい判断で行動できた。	5・4・2・1
	その時の気分ではなく、やるべき時にやるべきことをやることができた。	5・4・2・1
	自分中心ではなく、周りの迷惑を考へて行動できた。	5・4・2・1
	自習の時間を大切にし、集中して自分で学習に取り組めた。	5・4・2・1
	人任せにしたり人の意見に流されずに、自分の意見を言うことができた。	5・4・2・1
責任感	困難なことも、途中で投げ出さずやり遂げようと努力できた。	5・4・2・1
	ただやるのではなく、何事にも自分の目標を持って取り組むことができた。	5・4・2・1
	専門委員会や学級会の係の仕事は最後まで責任を持ってやれた。	5・4・2・1
	清掃では、きれいにするのを心がけ、しっかりと取り組めた。	5・4・2・1
	日直や給食当番の仕事を入任せにせずに取り組めた。	5・4・2・1
創意工夫	先生や仲間頼まれた自分のできる仕事は、面倒くさがらずに引き受けた。	5・4・2・1
	約束を守ることの大切さを知り、実行しようと心がけた。	5・4・2・1
	家庭学習の取り組みについて、自分なりに工夫し学力の向上に努めた。	5・4・2・1
	係活動などで、人任せにせず良いアイデアを出し取り組んだ。	5・4・2・1
	良い人間関係を築こうと、人との関わりについて考えて生活した。	5・4・2・1
	物事に取り組むとき、無駄のない効率的な方法を考へて生活した。	5・4・2・1

	項 目	評 価
思いやり 協力	困っている人の気持ちを理解し、助けてあげようと思った。	5・4・2・1
	相手の気持ちを考えて行動することができた。	5・4・2・1
	仲間に対して良くないところは注意することができた。	5・4・2・1
	人の嫌がることに気がつけて接することができた。	5・4・2・1
	友達の失敗があっても許すことができた。	5・4・2・1
	仲間と仕事をするとき、協力して取り組んだ。	5・4・2・1
	自分の意見が通らなくても、みんなで決めたことに協力できた。	5・4・2・1
	自分の失敗は素直にみとめ、反省することができた。	5・4・2・1
	学級や学年の活動に進んで参加することができた。	5・4・2・1
	相手の人権を尊重して発言したり、行動したりできた。	5・4・2・1
自然環境	生き物の命を大切にしようとした。	5・4・2・1
	自然保護や環境問題に興味を持ち、実行に移すことができた。	5・4・2・1
	幼児や高齢者などにいたわりの気持ちを持って接することができた。	5・4・2・1
	人によって判断や態度を変えずに生活できた。	5・4・2・1
公正・公平	自分に都合よく意見を言ったり、判断をしたりしなかった。	5・4・2・1
	仲間や先生が見ているときと見ていないときの態度を変えなかった。	5・4・2・1
	人をいじめたり、仲間はずれにしようとはしなかった。	5・4・2・1
	何事にも、自分が正しいと思った通りに行動できた。	5・4・2・1
	ヘルメットをかぶって登下校できた。	5・4・2・1
	交通ルールを守って登下校できた。(無灯火・並列走行・整備不良など)	5・4・2・1
公共心	机やイスを大切に、落書きやいたずらをしなかった。	5・4・2・1
	ルールやきまりを守って生活し、集団に迷惑をかけなかった。	5・4・2・1
	自分のためだけでなく、人のために通んで行動することができた。	5・4・2・1
	面倒くさがらずに集団の向上のため活動できた。	5・4・2・1

	所属・分担	コメント(頑張ったこと)	評 価
専門委員会			5・4・2・1
教科委員			5・4・2・1
班の係			5・4・2・1
学級の係			5・4・2・1
3学期 自分が心がけたこと、頑張ったことを積極的に教えて下さい。			
予備会の取り組みはどうでしたか？(係名)			

1年間を振り返って

氏名

1. 1年3学期までの1年5組を振り返って、1年5組を簡字1字で表して下さい。

--

理由は

.....

.....

2. 1年2学期までの自分を振り返って、自分を簡字1字で表して下さい。

--

理由は

.....

.....

3. このクラスで一番優しい人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

4. このクラスで一番しっかりしている人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

5. このクラスで一番のムードメーカーだと思う人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

6. このクラスで一番責任感のある人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

7. このクラスで一番心の広い人を教えて下さい。

男子	女子
男子	女子

8. このクラスで一番心の温かい人を教えてください。

男子	女子
男子	女子

9. 本当は良くないと分かっているのに、あなたが直せていない所はどんなところですか？(最低3つあげてください。)

10. 人は自分が思っている通りの人間になります。

①あなたは、今どんな自分ですか？

②あなたは、他の人にどんな人だと思われると思いますか。

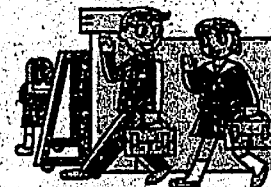
③あなたは、今後どんな自分になりたいですか？

この春休み、自分について真剣に考えてみてください。

自分を一番大切にできるのは自分自身です。

人は思ったとおりの自分になれます。

こんな自分になりたいという強い思いを持とう。



良い集団をつくるために

氏名

良い集団を作るためには、良いリーダーと、それを助ける良いフォロアーが必要となります。リーダーとフォロアーについてあなたの考えを聞かせて下さい。

1. 良いリーダーとはどんな人ですか？

--

2. リーダーを助けるためにどんなことが必要ですか？

--

3. このクラスでリーダーにふさわしい人を教えてください。

男子

女子

自分達の生活を振り返る

組	氏名
---	----

みんなが2年生になって2ヶ月が過ぎました。2年になり新しいクラスのスタートをきったときあなたはどんな気持ちで登校していたか思い出してみてください。「勉強頑張ろう!」「部活で活躍しよう!」「友達いっぱい作るぞ!」などいろいろな期待と多少の不安を持っていたことでしょう。

みなさん、今の自分はどうですか?

○中間テストが返ってきて勉強の方はどうですか・・・?

○部活では総体予選の2ヶ月前になった今、取り組みはどうですか・・・?

○友達関係はうまくいっていますか・・・?

今日は、2年生になって2ヶ月たった自分(個人)と2ヶ月たった自分達(集団)を見つめ直してもらいたいと思います。もしかしたら気づかないうちに、大きな間違いや勘違いをしていたり、やるべきことを疎かにして、やらなくて良いことに必死に当たったりしている人がいるかもしれません。

後になって「こうしておけば良かった・・・」と後悔する人が出ないように、今の自分や今の自分達を振り返り、以下の質問に答えて下さい。

1. 学習面

①あなたは真剣に授業に取り組んでいますか?

はい いいえ

②あなたは家庭学習の充実を心がけていますか?

はい いいえ

③あなたは、授業中に関係ない話をしたり、自分勝手な発言をしていませんか?

していない している

④あなたのクラスに授業の邪魔するような発言をする人はいますか?

いる いない

⑤仲間の行動の中で、授業中に「これは良くない!」とか「これは迷惑だ!」と思う行動を上げて下さい。

--

⑥みんなの学力を上げるためには、授業中どのように取り組んだらよいと思いますか?

--

⑦あなたのクラスで、授業中「この人は頑張っている!」という人を教えて下さい。



2. 生活面

①あなたの友達関係はうまくいっていると思いますか？

うまくいっている

うまくいっていない



② ①で「いっていない」と答えた人に聞きます。どのようなところがうまくいっていないのか教えてください。

③あなたの回りで仲間はずれ（無視など）をしようとしている人や、している人がいますか？

いる

いない

④今、あなたのまわりで起きている人間関係のトラブルや、あなたが困っていることを教えてください。

⑤今後、みんなが安心して学校生活を送るために、一人ひとりがどのような心がけをしていったら良いか、あなたの考えを聞かせて下さい。



一人ひとりを大切にするためには、その集団が良い集団でなければいけません。

人みんなが安心して学校生活を送れるように、みんなで良い集団を作っていきましょう！

進路学習①

今の自分を見つめて

番	氏名
---	----

大きな行事である修学旅行が終わり、中間テストも先週終了しました。3年生の1学期も残り半分となりました。中学生としてとても大切な時期を有効に過ごすためにも、今の自分を振り返ってみよう。

	今の自分の活動は？	◎○△×	これからの取り組みをどうするか？
給食当番 週 直			
清 掃			
実行部			
部 活			

これからの生活で、人から認められる（「あの人は良い人だ！」と言われる）ために自分が心がけていこうと思うことをまとめよう。

なぜ、勉強するの？

氏名

1, あなたが勉強する理由について考えてみよう!

わたしが学ぶ理由	○	順位
将来の仕事に役立つ力を身につけたいから。		
勉強することで、いろいろな資格を取りたいから。		
希望する上級学校へ進学する力をつけたいから。		
勉強しないと良い生活が送れないから。		
義務教育期間は、勉強するのが当然だから。		
保護者などが勉強しろとすすめるから。		
みんなよりも良い成績をとりたいから。		
勉強したことを社会に生かしたいから。		
勉強することが好きだから。		
勉強することで自分の能力を伸ばしたいから。		



2. なんであなたは高校へ進学するのですか？

なぜ高校へ進学するのですか？	○	順位
教養を高めたいから。		
将来の仕事に役立つ専門的な知識・技能を身につけたいから。		
希望する職業に就くために必要な資格を取りたいから。		
大学などの上級学校に進学したいから。		
高等学校などを卒業した方が就職に有利だと思うから。		
学校生活を楽しまないから。		
まだ働きたくないから。		
高等学校などに進学することが当然だと思っているから。		
先生がすすめるから。		
保護者や家族のものがすすめるから。		
友達や先輩がすすめるから。		
みんなが進学するから。		
中卒者の求人状況は厳しいから。		